

こっこつ歩いて

3月25日、淀川河川公園背割堤地区で『背割堤』歩数診断ウォーキングを開催しました。青空の下で、324人が健康づくりに取り組みました。

暮らし生き生き

「背割堤」歩数診断ウォーキング



▲ コースを歩く参加者たち

歩数診断書(一例)

市では、やわたスマートウェルネスシティ計画に基づき、誰もが「健康」で「幸せ」に暮らすことができるまちづくりを進めています。その一環として、ウォーキングを通して、健康づくりを意識し、継続的な健康活動に取り組みでもらおうとイベントを企画。

歩数診断書		
参加者数	8種	大勢
歩数	5,600	歩
歩行距離	2,900	メートル

参加者たちは、河川沿いの景色や咲きかけの桜を眺めたり、参加者同士で会話を楽しんだりしながら、背割堤の桜並木を往復するコース(約2.8km)を歩き、歩数を計測しました。歩き終えると、年齢や性別などに応じた歩行アドバイスや当日の歩数、歩行距離をまとめた「歩数診断書」を受け取り、一日に必要な歩数や歩数を増やす方法などを確認していました。

第30回

松花堂つばき展

色鮮やか300種切り花や生け花

3月30日～4月1日の3日間、松花堂庭園で「第30回松花堂つばき展」が開催され、約1500人の来園者が、色とりどりのツバキを楽しみました。

同展は、松花堂庭園・美術館などが毎年主催しており、今年で30回目を迎えました。

庭園内の各所に竹細工と共にツバキが飾りつけられ、来園者は庭園をゆっくりと回りながら、趣向を凝らした展示を鑑賞しました。

屋内の会場では、300種

類以上のツバキの切り花や、生け花、アレンジメントフラワーなどを展示。また、「つばき展30年の歩み」パネル展やお茶会なども行われ、来園者は同展ならではのツバキづくしの企画を満喫しました。

間島正恵さん(50)は、「たくさんの種類のツバキがあり、見たこともないものばかりでびっくりしました。まだ蕾のものも、咲いたらどんなだろうと想像するのが楽しかったです」と笑顔で話していました。



ツバキを鑑賞する来場者

まちの話題

このページでは、市民の皆さんの活躍やまちの話題などを紹介しています。身近な話題や、広報紙についての意見を、秘書広報課までお寄せください。



ミュージカルで踊りながら歌う団員たち

八幡市少年少女合唱団第39回定期発表会

40周年響く讃歌

小中学生団員20人

4月22日、八幡市少年少女合唱団第39回定期発表会が文化センター小ホールで行われ、小学1年～中学3年生の団員20人が美しい歌声を披露しました。

この発表会は、団員たちの練習の成果を発表する場として毎年開催されており、同団は今年で結成40周年を迎えました。第1部は、合唱のステージ。団員たちが身振り手振りをまじえながら「ロマンチストの豚」など6曲を元気いっぱい

世界を食べ歩くミュージカルも

に歌いました。また、卒団生3人が「COSMOS」など2曲を披露。最後に、団員たちが40周年の思い出の歌として「八幡讃歌」などを歌い上げると、観客からは大きな拍手が送られました。第2部では、2人の女の子が世界の国で食べ歩きをするミュージカル「のん☆カナの世界グルメ旅」を上演。のんとカナの掛け合いや、民族衣装を着て歌って踊る団員の姿に、観客たちは笑顔を見せながら、楽しんで鑑賞していました。

女性目線で防火・防災を推進

自治体消防制度70周年記念表彰

八幡市女性防火推進隊が、3月7日、一般財団法人日本防火・防災協会より、長年、地域の防火・防災活動に貢献した団体に贈られる「自治体消防制度70周年記念表彰」を受けました。

同隊は、今年で発足40周年。現在は、25人の隊員が所属し、女性目線での防火・防災活動を行っています。

主な活動として、月に2、3回、地域の民生委員と一緒に、高齢者宅を訪問。ガ



▲ 店舗前で啓発活動を行う隊員たち
表彰状と八幡市女性防火推進隊員たち

スの元栓やコンセントのタコ足配線など、全12個のチェック項目に沿って、家の中を点検し、防火についてアドバイスしています。また定期的に、火災予防運動の啓発活動や研修、訓練なども行っています。

表彰を受けて、「日々の活動から、色々と勉強させていただいています。今後は隊員を増やして、より地域の力になりたいです」と、同隊隊長の滝川陸恵さん。

また、副隊長の足立妙子さんと牧野ふみさんは「これからも、先輩たちが続けてこられたことを受け継いでいきたいです」と話していました。